

<討議内容>

日 時:令和5年10月12日(木)
場 所:ミライフルキッズデイサービス八戸中居林
出席者:放課後等デイサービス 全スタッフ

内 容

職員による評価	令和5年8月26日～令和5年9月16日
保護者による評価	令和5年9月1日～令和5年9月25日
事業所全体による評価	令和5年10月1日～令和5年10月10日

評価期間を設け、ミライフルキッズスタッフで討議を行う。

<事業所職員>

●環境・体制整備

1・3

⇒ 令和5年7月1日より中居林の事業所へ移転したことに伴い、既存の物件での活動がスタート。少なからず手狭ではあるが、工夫しながら活動している。完全なるバリアフリーではないが、ある意味、児童生徒にとっては、「ここは段差があるから気を付けよう」「床が滑るから走らない、ゆっくり歩く」という学びに繋がられている。

●業務改善

7

⇒ 第三者による外部評価は、経費もかかることから実施できていません。ただし、日頃からの言葉かけ、対応、接し方は誰かに見られている気持ちでいなければならない。外部の目は入ることは必要である。そこで、常時事業所開放し、面談や保護者会とついった決められた日ではなく、いつでもどの時間でも保護者が見学に来所できるように促している。(例えば、午前中は子ども達がいなくて、何をしているの?という疑問があると思います)

●適切な支援の提供

17

⇒ 来年度の法改正に伴い、記録の重要性は感じています。記録することで、当事者の振り返りにも繋がりますし、それをフィードバックして、全体で検証・改善につなげられればと思う。

●関係機関や保護者との連携

22・23・25・26・27・29

⇒ 一番課題点が多く示された項目です。医療的ケア児に対する、体制が整っていないことは事実。またコロナ禍だったことから、放課後児童クラブや児童館との交流が出来なかった。先方の体制もあり、なかなかアクションできずにいる。今後は障がないのない子どもと活動する機会も設定できればと考えている。

●保護者への説明責任等

37

⇒ 令和5年7月1日に現在の場所へ移動し、地域の方々には挨拶程度。今後は、色々な形で、地域に開かれた事業所としていければと思う。

●非常時等の対応

42

⇒ 全利用者様から、食物アレルギーのアンケートを実施している。現在、医師からの指示書を必要とした児童生徒はいない。

・『虐待防止委員会』を設置し、事業所内での虐待防止研修、様子を見ながら外部講師を招いた研修など積極的に実施していきたい。そして今年度からは、保護者代表2名も委員会に加わって頂き貴重な、ご意見を頂いている。

・『感染症対策委員会』『災害対策委員会』を設置し、研修の充実を図っている。

<保護者から>

●環境・体制整備

1:子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

はい:5 どちらともいえない:6 いいえ:2 わからない:2

⇒活動場所が手狭なことは事実です。パニックを起こした時にクールダウンの場所の確保、個別対応が必要な児童生徒への対応、苦慮している部分もありますが工夫しながら取り組んでいます。

3:事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか

はい:3 どちらともいえない:3 いいえ:1 わからない:7

⇒必要最低限の設備はしています。

●適切な支援の提供

5:活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか

はい:14 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:0

⇒ここでいう活動プログラムとは、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることを想定されたものです。

なるべく固定化しないようにプログラムは組んでいます。一人ひとりの達成状況を図るために継続して行うプログラムもあることは事実です。固定化しない一つの手段として主担当が準備した課題をローテーションで課題の様子を見ます。そうすることで違った視点での課題点や強みが見えてきます。将来的に、職場で誰の指示でも理解し、取り組められるようになれば…と思います。

6:放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか

はい:8 どちらともいえない:2 いいえ:3 わからない:2

⇒ここは今後の課題として事業所内で検討していきたいと思います。

●保護者への説明等

10:父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか

はい:11 どちらともいえない:2 いいえ:1 わからない:1

⇒コロナ感染予防が第5類になったことをきっかけに、保護者との共有を大事に取り組んでいます。保護者会、職員・保護者との研修会を実施しています。保護者からの不安や、要望、意見を吸い上げ、それを研修会として実施できればと考えています。

11:子どもや保護者からの苦情について、対応の整備をするとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している

はい:12 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:2

⇒苦情解決責任者、苦情受付担当者を決め、苦情解決処理のマニュアルを整備しながら行っています。

14:個人情報に十分に注意しているか

はい:13 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1

⇒個人情報は、十分に気を付けなければならない事項です。メモ用紙もシュレッターするようにしています。また行事等での写真・新聞やマスコミ関係からの撮影時は、その都度、確認をとるようにしています。

●非常時等の対応

15:緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか

はい:14 どちらともいえない:0 いいえ:0 わからない:1

⇒内部研修を通して、書類整備としてマニュアルの読み合わせ、付け足した内容、不要な内容を話し合いながら作成しています。その都度、お知らせ出来ればと思います。

●満足度

17:子どもは通所を楽しみにしているか

はい:13 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:1

⇒療育の質、そして何よりも子ども達が、楽しくワクワクするような活動、体験ができるように頑張っていきたいと思います。

プラス面 強み(Strength)

- ・家庭にいるような環境での支援が可能
- ・自立生活(アパート)を想定とし、生活スキルの向上を目指すことができる
- ・多種多様の事業での体験実習が可能(就労プログラム)
- ・ベテランスタッフ(経験者)、別視点からの支援、またスタッフ、同士での学びが出来るようになった

マイナス面 弱み(Weakness)

- ・謙虚さ、学ぶ姿勢を忘れないようにすること。
- ・もっともっと丁寧な対応を心掛けること。
- ・取り組みについて、活動内容についての情報の発信。
- ・チームでの課題や活動を心掛ける。
- ・新たな視点からの取り組みを考えること。
- ・お客様がパニックになった時のクールダウンする場所の確保が厳しい。

来年度の目標(改善点)

- ・コロナ禍において、地域交流、保護者会、外部研修といった活動が出来ずにいた。実際、終息したわけではないので、常に感染予防の徹底を図る。BCP を活用しながら、コロナだけではなく、感染症予防に関する研修を実施していきたい。
- ・引き続き保護者会、保護者参観が出来ればと考えている。
- ・保護者様からの、お声にもあります『放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会』が、現に実施されていないことを踏まえ、今後検討の余地があると思われる。少人数から、地域交流活動として障がいのない子どもと活動する機会が設けていきたいと思う。
- ・公共交通機関を利用しながら、社会で生きていくスキルを習得できるように支援をする。
- ・地域の催しものに参加できるようにする。
- ・健常の子ども達と、スポーツ交流が出来ればと考えている。
- ・将来を見据え、体験をすることで、仕事へ繋がるプログラムを考えていきたい。

